

# ラグビーアッパレ関西制覇!!

巻頭  
特集



歡喜のスタンド、たからかに『空の翼』

スポーツ・学問バランスのとれた関学に

## 渡辺 淳一 氏

KGAAは感謝の心で体育会を支援。スポーツ、学問、バランスのとれた関学に。

## 杉原 左右一 学長

伝統を守り強化制度を推進。社会で生きる、文武の鍛錬。

## 牟田 至 氏

基礎を大事に、タックルだ！自分たちで考えろ！と言い続けて。

「やったぞKG!!」 思わず歡喜の叫びをあげた同窓も多かったことでしょう。大学ラグビー部が51年ぶりにみごと関西制覇の快挙。

そこで、杉原左右一学長、元ラグビー部監督でKGAA渡辺淳一会長、牟田至優勝監督にご登場いただき、優勝までの軌跡と関学の同窓や学院のクラブサポートの現状について熱く語っていただきました。

## プロフィール

### ●渡辺 淳一

S41年 法学部卒業  
関学KGAA会長  
ラグビー部元監督 同OB会幹事  
株式会社ワタナベ社長

### ●杉原 左右一

S43年 理学部卒業  
関西学院大学学長 商学部教授

### ●牟田 至

H7年 商学部卒業  
ラグビー部51年ぶりの関西制覇時監督  
サントリーピア&スピリッツ株式会社勤務

# 学関、蘇る今、51年節苦



## 学生 の 頑張り で 優勝 評価軸を決めて 一体感

牟田さん、関西学生ラグビー、五一年ぶりの優勝おめでとうございます。KGA Aの渡辺会長さんも元ラグビー部の監督で今はラグビー部OB会の幹事さん。重ねておめでとうございます。

牟田、渡辺 ありがとうございます。

テレビニュースで優勝を知ってびっくりしました。大学の学生会館あたりには、優勝の瞬間の写真や新聞がいっぱい張ってあって、みんな喜んでるんだなあと。優勝されて半年過ぎた今の感想は。

牟田 そうですね。本当に、よく優勝できたなあというのが率直な感想です。一年を振り返ってみると、学生たちがよく頑張ってくれたと言う言葉しかありませんね。

大学ラグビーAリーグのチームはすべてフルタイムの専任コーチ制ですが関学のラグビー部だけは監督、コーチが社会人のままの休日だけのボランティア制で、私はサントリーの社員のままで二年コーチをした後、監督になりました。ほかのコーチも皆、サラリーマン兼務コーチで土日しかグラウンドへ行けないので、私達ができることは

限られています。

優勝できた第一のポイントは本当に学生たちが頑張ってくれた、ということですね。

監督一年目は、私が細かい枝葉の技術の部分にこだわって、軸になる方針をさせなかったためにチームの一体感を作れなかった、という失敗をしました。この反省を生かして昨年はチームが本当によくまとまれたと思います。

一年目の私の評価軸は、たとえば「タックルは苦手でも足が速くてトライが取れる選手ならチームには必要」という1タルの評価で、今考えると、すごく曖昧でした。

二年目は「ディフェンスを軸に決めて、「タックルできない奴は試合に出さない」とやることを明確にし、それがわかりやすく、シンプルでよかったかなと。

ただ私は試合に出られない学生たちにもチームに関わっているという気持ちを持たせて一体感を持つてやりたかったので、ディフェンスという柱は提示しましたが、あとの枝葉のところは学生にミーティングで考えてもらいました。

だから、トップダウンとボトムアップのバランスがすごくよくて、チームの一体感が生まれたと思います。

## 四九年ぶり。秘策で同志社を撃破

牟田 もう一つのポイントには、対同志社戦の対策ですね。

同志社には高校ラグビーのトップクラスの選手がたくさんいてタレント性も能力も関西ナンバーワン。当時の私は、どうすれば同志社に勝てるかを真剣に考えることも無く、勝



つ手段をイメージするという発想もありませんでした。

監督一年目のシーズンの終わりころ、不利といわれたサントリが三洋電機を破った試合を見て、同志社に勝つイメージが浮かびました。

それは、「残り二〇分までディフェンスで耐える。今主流の、ボールを何度もつなく組み立てを捨て、時間を潰す戦い方をし、最後に逆転する」というゲームプランでした。

それにはディフェンスの強化しかないと。同志社戦前のミニ合宿で作戦を説明し、学生も相手のビデオ分析やミーティングを繰り返して、「これで戦う」と決めてくれました。

**渡辺** 絵に描いたようにうまくいきましたね。前半が一〇点差ぐらいで負けていてあと二〇分ぐらいで一点差に。

**牟田** それで最後にほんぽんと取って。もう作戦どおり。

**渡辺** 最後の数分間は、なんとか勝たしてやりたくて応援仲間「顔が引きつってたわ」って言われました。

**牟田** 逆転した後、残り数分だったので時間が本当に長く感じました。

**渡辺** 最後の笛を聞いたときは、OB会長も皆抱き合って泣いていました。四九年ぶりの勝利ですもんね。明確に指針を変えたこと。もう一つは「タックルが命」のキャプテンを選んだのが監督の殊勲賞ですね。

**牟田** 室屋雅史キャプテンは、去年の関学のラグビーのシンボルでしたね。実務的にはフォワードリーダー、副キャプテン、バックスリーダーの三人が練習メニューを組んだり、裏方としても頑張ってくれて非常に助かりました。

—— 大学選手権でも頑張られましたか。

**牟田** 対抗戦三位の日体大に勝ったのはすごいと思います。ことしは国立を目指して早稲田、慶應、法政、帝京の4強にクロスゲームをしてほしいと思います。

## 【監督が選んだテーマはノーベル賞並み】

**杉原** 最近発行されたラグビー部八〇周年史に牟田監督の手

記が載っています。

「ラグビーの基本的タックルをきちんとできない人は使わない」、そして「基礎が大事だ」と。それから三つ目の

「考えなさい。そして体現しなさい」には心うたれました。自分の立場と状況をよく考えて動きなさいということですね。

私は中学部で矢内先生からラグビー精神の

すばらしさを教えていた。以来、ラグビーに強いロマンを感じるようになりました。

**渡辺** 高等部では、『ラグビーは「楽・苦・備」と書く。人生と一緒だ」と教えられました。

**杉原** 昨年ノーベル賞を受賞された四人の日本人学者も「学問の基礎を固めなさい」とおっしゃっていますね。「型にはまらず、幅を持って物事をとらえなさい」は「考えて体現しろ」と似ていますね。おちゃめな益川教授は「夢と希望を持って諦めずに」と。これはチャレンジ精神ですね。学問と運動部活動や文化部活動の根底には共通の精神があると感じます。

**牟田** その時の原稿は新しいシーズンの始まる前の二月ごろ、前年の結果が出なかっただったのでその思いを引きずったまま、ほとんど失意のうちに書いたものでしょうね。

「自分自身が考える」ことが一番大事だと思いつけています。これはスポーツだけでなく社会人でも同じだと思います。

私も人から言われたとおりやるのではなく、それを参考にしながらアレンジしていくというのが絶対良いと思っています。



ただ、一年目はミーティングで「考えろ」と言いながら、実際は私が一方的に指示していましたから。

ラグビーの試合では監督やコーチは10分間のハーフタイムにしか指示できません。テレビ・新聞では私が指示したことになっていきますけど、ことしはキャプテンにまかせて一言も言いませんでした。

**杉原** そんなハーフタイムは珍しいですね。

—— コーチのみなさんとのコミュニケーションは。

**牟田** 平日は皆、仕事で会えませんから連絡はメールと電話で。土日には話し合います。コーチは一人ほどでしたのでコーチや監督の言うことがバラバラでは学生が不信感を持つので、そこには気をつけました。

**渡辺** コーチの中には監督経験者もいますからね。まあ、自分が選んだコーチですからね。



**牟田** コーチに意見を聞きますが、最終決断は自分でとっていたので、独断もあったかもしれません。秋の初戦の同志社に勝って学生たちが勢いを持ってやってくれたので、私たちはあまりすることがなく、安心して見ていました。

## 統計学のゼミ

### 監督の素質は杉原ゼミで

—— 監督は杉原ゼミだったそうですね。監督の素質は杉原ゼミで培われたんですか。

**渡辺** 卒業させてもろたんやから「はい」と言わないと。  
**牟田** はい。ゼミにラグビー部の一年先輩がいて「杉原先生、いいよ」って言われて。

**杉原** 100%出ているわけではなかったな。

**牟田** はい。試合だ何だと理由をつけて。統計学なんですけど、内容が難しく、チンプンカンプンでした。すみません。先生は時おり私が居眠りしていても何もおっしゃらなかったですし、本当に優しい先生で。

**杉原** グループをつくって、干渉しないで。学生任せ、はよく似ていますね。

**牟田** 本当にお世話になりました。つまらない卒論で。

**杉原** ファイナンスのハシリのような内容でしたね。

**牟田** すごく難しかったです。

**渡辺** 私はコーチ、監督で彼の学生時代を見えます。大阪の進学校、北野高校出身で基礎学力も高くて根がまじめ。橋下大阪府知事の二年下でラグビーのエリートですよ。ラグビーが上手で自分が皆を引っ張らなければという強い

気持ちを持っていましたね。

**牟田** 私は小さいころはラグビースクールで、中学はサッカー部でした。

**渡辺** 関学ではスタンドオフが長くて、主力でバックスを全部東ねてくれていました。

## サントリーではフルバックでした

**牟田** サントリーでは今泉清さんからスター選手の後、私は二年ほどフルバックで試合に出させてもらえて、本当に運が良かったです。仕事は定時までやって、夜七時半から練習し、一年目はグラウンド整備もして帰宅は夜中の一時半とか。また朝六時に起きて出勤。結構きつかったです。

### 監督のときの私生活は

**牟田** 平日は仕事、土日はラグビーでしたのでほとんど自分の時間はありませんでした。家族サービスはほとんどできて

いませんね。

実は家内も関学商学部と同級生で、語学の授業で知り合って、二九歳で結婚しました。今三八歳です。

何も相談せずに監督を引き受けたときは結構怒りましてね。まあ相談しない僕が悪いんですが。ちょうど一人目の子が生まれた後で。

**渡辺** いや、それは私が悪いのです。二年だけ頼むと。でも勝ったから、もう一年と言いたかったのですけど。約束ですし、彼の人生にも関わることでずから。

**牟田** 長女が生まれたばかりで監督になって土日はクラブ。仕事も朝から帰宅は深夜が普通で、何も手伝わってやれなくて、嫁さんにはかなりしんどい思いをさせました。家内の実家が近くで助けていただきました。待ち望んでいた子供なので、可愛くて。今二歳です。ずいぶん面倒見てもらった双方の両親と家内にはこれからお返しをしなければいけません

### 【家内の「おめでとう」が一番うれしかった

**渡辺** でも、優勝のインタビューで奥さんええ顔してはったよ。家内が「やっとなって笑ってほるね」って。怒ってはるのうちの嫁さんも知ってますからね。ホツとしました。

**牟田** でも毎週土日に気持ちよく送り出してくれて嫁さんには本当に感謝しています。一生頭が上がりません。

—— 優勝した時の奥さんの最初の言葉は。

**牟田** 天理との最終戦の後、グラウンドで、テレビの生中継のインタビューを受けていたんですが、スタンドの方を見たら泣いている嫁さんが見えてちょっとびっくりして、笑ってしまってます。

彼女に会ったときには「おめでとう」って素直に喜んでくれて、これが一番にうれしかったですね。

**渡辺** 優勝できて奥さんに泣いてもらえて、ラガーマン冥利ですな、OBも皆泣かせてもらいました。スタンドに「空の翼」が響き渡って、最高でした。

海遊館にて09年夏  
千恵夫人（H7年商学部卒）  
とかれんちゃん 三歳



娘もすっかりラグビーファン 牟田 千恵

監督であった主人をはじめラグビー部全員が丸一となつて築上げた功績だと思います。平日は会社員、週末は監督という二足のわらじを履き、休日なしてこなしていた主人の健康面が気がかりでした。

精神面でも辛そうな時もあり、自宅にいても心ここにあらずという状況も時々ありました。娘の誕生前からコーチを始め二歳になった年には一緒に見ていけないということに若干不満がありましたが、両家両親からのサポートもあり乗り越えてきました。昨シーズンは娘と一緒に試合観戦に行き、母校が優勝する瞬間を見ることが出来てとても良い夢を見せてもらえたと思います。

娘も今ではすっかりラグビーファンになっています。また今後のラグビー部の活躍を楽しみにしています。

### 【KGAは学生を支援する体育会の同窓会

—— ラグビーの話題はひとまずおいて、会長さんとしてKGAという組織をご紹介ください。

**渡辺** フルネームは、関西学院アスレティックアソシエーションです。以前は「体育会OB会」でしたが、今は体育会に女性もたくさん参加されていますので改称しました。

—— どんな活動をなさっていますか。

**渡辺** 今大学には学生の体育会本部と四二部の体育会加盟クラブがあります。それを卒業した同窓生で作る会です。

各クラブにおられる会長、副会長、常任幹事、幹事さんが集まってKGAを形成しています。幹事会、常任幹事会を年五回開き、総会もして、さまざまなことを決めていきます。

たとえばラグビー部のOBはラグビー部の支援、応援をします。監督もコーチもボランティアで、OB会が監督を依頼するので合宿の宿泊費などは一応OB会で負担しますが、各クラブで事情は違うようです。

牟田君のように監督やコーチで選手を指導される方、資金集めの支援をする方などいろいろな役割があって、各部が独



自にやっています。その連合体がK G A Aです。今、登録しているメンバーは老若男女一万七千人ですが、学院の二二〇周年を機に全クラブを再精査し直すつもりです。

起源は、米田先生（現同窓会参与）が「ばらばらにやっていたらいかん」と初代の幹事長をなさって立ち上げてくださったと伝わっています。

学生の各クラブは学院から補助も出ますが、各OB・OG会の援助無しではほとんどの部は立ち行かないのではと思います。ほとんどのクラブの監督もそのクラブのOB・OG会長が指名してK G A Aが掌握しています。学院側は学生部の所管として監督を委嘱する命令書が出ます。監督会もK G A Aと学生部の双方の中にあるのです。

K G A Aをなぜやるのかと聞かれれば、学院に対する感謝です。青春を育んでくれた学院へのお礼のために、出身部を応援する。それぞれの部を皆で応援することが一番大事だというのがK G A Aの理念です。もちろんボランティアです。杉原 大学は二二〇周年を機に策定中の新基本構想の中で一〇年ビジョンの柱の一つとして課外活動の活性化を掲げています。

同窓の皆さんの協力も得て、更に活性化したいというものです。将来、文化部にもK G A Aのような組織ができて、両輪でうまく回っていくことを願っている人も多いと聞きます。

## ☑ 伝統を守るクラブ強化支援やスポーツ推薦入学制度

杉原 資金的なことを申しますと、三年前に強化クラブ制度ができました。ことし四年目の見直し年で、ラグビー、アメリカン、サッカー、野球（前回は陸上部）、吹奏楽部、それにグリークラブの六つが選ばれました。三年間隔でクラブ強化の支援をさせていただきます。大学としても強化指定をして、これまでの栄えある伝統を受け継ぎ、守り、高めていただきたい。文化部もそうです。各学部長が全員集まって、過去の成績も全部踏まえて選びます。

渡辺 ラグビー部は制度が始まった三年前、第一期強化指定部にしていただき、今年再指定をいただきました。

杉原 ラグビー部は優等生ですね。

渡辺 強化指定は、平たく言えば関学の広告塔ともいえますね。それがすべてじゃないですし、表現がよくないかもしれませんが、良い意味で関学のメディアへの露出度が高まれば関学ファンも増え、同窓も鼻が高いです。それが必要ですからね。

おかげさまでラグビー部は新聞、テレビ、そのほかのメディアへの露出度としては最高の年でした。

優勝時の私のインタビュウ映像がNHKのワールドニュースで全世界に流れましてね。海外から夜中に「見ましたよ」とたくさん電話をいただいて、すごい反響でした。

K G A A会長としては、まず強い部を伸ばして、さらに次のステップへ、ですね。

## ☑ 他のクラブの支援も期待

スポーツも学問も頑張れ

次の見直しのときは頑張っている他のチームもぜひ支援してやってほしいですね。というのは、今ね、ムードはすごくよくなってきているのですよ。



三年ぐらい前から見たら、関学のスポーツの成績は間違いなく上向いています。そういうときに弱くても頑張っているチームに追い風が当たると、さらに良くなりますね。

**杉原** 支援ができて関学のスポーツの伝統が蘇えり、合わせて大学としての評価も上がってくればいいですね。

推薦制度もレベル

アップには貢献していますか。

**杉原** はい。推薦制度は全運動部が対象ですね。

**渡辺** それぞれの部から申請はします。関学のスポーツを支えていると思います。

私は中学部から五〇年以上関学にお世話になっていますが、関学の体育会部員は「関学はスポーツだけではない」という意識を全員持ってほしいと願っています。

一番気になるのは推薦の選手が留年することです。体育会会長のお話では一般学生の留年割合と変わらないようですが、勉強もスポーツもバランスのとれた関学生でなければね。**杉原** 私はスポーツ推薦は大賛成ですが、その是非については学内に議論もあります。ただ推薦入学生の成績は一概には言えないでしょうが、一般入試で入られた学生と際立った大きな差はないと聞いています。各スポーツ分野で頑張られたことが、社会ですごく役立っていると感じることが多くあります。

関学は弁護士を養成する社会人向けのロースクールという大学院をつくりましたが、その一期生で学生時代スポーツをしていたOBが、難関中の難関の資格試験に見事に一回で合

格されましてね。四年間で培われた精神力が生きていると思えました。

皆さんの周りにも学生時代にスポーツに情熱を注いだすぐれた方々が大勢おられると思います。

**杉原** 牟田さんを始め、多彩な同窓生に、大学で体験談を聞かせてほしいですね。

#### ☑ 監督で学んだ

「人の評価の難しさ」と「組織は人」

ラグビー部の監督として優勝された経験で得られたものは何ですか。

**牟田** まず、学生と接して一番難しいと思ったのは人を評価すること。評価する側も真剣に相手と向き合わないといけないということを勉強させていただきましたね。

二つ目は組織は人が一番大事だと。どんなに素晴らしい戦術があっても、結局学生たち、その組織に属している人間が動かないと何もできません。この二つが勉強になりました。

ラグビーの面白さを一言で表せば

**牟田** ちょっと難しいですが、チーム力が試されるスポーツだということでしょうか。

#### ☑ 休日はどうにお過ごしですか

今は、お休みはどうしておられますか。

**牟田** 家族サービスが中心です。ゴルフが好きなんですけど、子供と遊ぶことを優先しているのでラウンドはあまり行きません。せいぜい九〇切るぐらいですけど。



**渡辺** 私はハンデイ二です。ゴルフ以外は寝てるか、海へ潜りに行くか。最近家内とお寺参りを始めました。古寺巡礼ですな。気分が落ち着きますね。

—— 学長さんは短歌や俳句をおやりになるんですね。

**牟田** ええ、そうなんです。初めて聞きました。

**杉原** 母親が短歌と俳句をやっていた影響です。また、昔、商学部の教員仲間（俳句を作るUC（うし）の会の先生方に誘われまして。感動した時々）に幾つかつくるタイプです。初めての香住への吟行で、まずい作品を先生や先輩が上手に褒めてくれて病みつきになって。『試験に出る英単語』——しげ単——という受験用ベストセラーを書かれた森一郎先生（経済学部・故人）は俳句がすごくお上手でした。

—— ゼミ生が監督をしてラグビー部が優勝。ぜひ一句。  
**杉原** はは。お恥ずかしいですが。こんなのでいかがでしょうか。

ラガー等と 校歌歌いて 秋晴るる

左右子

—— 強化指定されたクラブのことしの成績予想は。

**牟田** 私はチームに一切関わっていませんが、聞くところでは日本一を目指しているようです。

**渡辺** アメフトはもう毎年ですね。



**杉原** サッカー部にも皆さん期待しておられます。今回伝統ある野球部も強化対象になって、関関戦では一六対〇で勝ちました。優勝をめざせるのではないのでしょうか。

**渡辺** 控え目に、来年を楽しみにという声もありますが、昨夏、甲子園優勝の大阪桐蔭の萩原圭悟というホームランバッターが一年生でサードで四番です。期待しましょう。

サッカー部には徳島の藤枝順心高校出身の女子選手が入っていますね。公式戦には出られないのですが。今年の関関戦では一五番で大活躍していましたね。

### ☐ クラブ活動で得た知恵や精神力の蓄積は やがて社会で生かされていく

**杉原** サッカーもかつての黄金時代を遠からず復活できるとは。

運動部や文化部など四年間のクラブ活動経験の中で培われる技能や知恵や精神力は、その人の中に蓄積されて、人生のいろんな場面で生かされていくのですね。

そのような蓄積は、Mastery for Serviceという関学の建学の精神の下で真に生かされていくと思います。

し、そういうことが関学という場所で育まれて伝統として受け継がれ今に至っていると思います。

—— 二〇周年を迎えるわけですが、これからもそういう伝統が脈々と関学の中に受け継がれてほしいと強く思います。

—— どうもありがとうございます。これからはできるだけ各クラブの応援に出向きたいと思っています。

